

私の考えるスポ健の  
**博士力**

高いレベルの研究力・  
実践力・リーダーシップ



## スポーツを科学的に読み解くことは面白い！！

株式会社 ウェザーニューズ

泉本 洋香



### let's access



このQRコードを読み取ると  
博士学位論文に  
アクセスできます

学位授与の年月	2020年9月
学位論文のタイトル	Influences of trunk muscularity and motion strategy on club head speed during golf swing
指導教員名	伊坂 忠夫
研究領域	Biomechanics
キーワード	Muscle volume・Bilateral asymmetry・Body rotation・Driver shot・Golf performance



学位取得を  
目指した  
きっかけ

**ゴ**ルフが面白いから、この一言に尽きます。私は大学生になって部活に入部することで初めてゴルフというものに触れました。そして、止まっているボールを打つことがこんなにも困難なものなのか驚き、ゴルフスイングに興味を持つようになりました。それから3年間、自分でゴルフをプレーし、ゴルフ研究の実験の手伝いをさせていただき、講義などでゴルフについて研究されている先生の話聞くうちに、ゴルフスイングについて感じている疑問を自分自身の力で解き明かしたいと思うようになりました。大学4年生から本格的に研究活動を始めましたが、ゴルフスイングについて感じてきた疑問を1つずつ解き明かすには博士課程前期を含めた3年では物足りず、もっと深く追求したいと考え博士課程後期課程に進みました。

在学中

**博**士課程後期課程では、学士・修士課程で培ってきた研究技術や知見を、現場にいる選手の競技力向上に役立てるために、選手や指導者に対してスイング測定を行い、結果のフィードバックを行う活動を行っていました。スイング動作を力学的な根拠を持って解説することで、スイング動作の問題点を選手自身が具体的に認識でき、その後のトレーニング精度の上昇に繋がると考えたのがきっかけです。私がゴルフを始めた頃、感覚に頼った教え方やひたすらボールを打つだけの打球練習を経験し、練習効率の悪さを感じていました。そこで、学士・修士課程の研究活動を通じて、筋肉や関節の基本的な動きを学び、真っ直ぐボールが打てるスイング動作を知りました。そして、床を蹴った力を効率よくクラブへ伝達させる体重移動の方法を見つけ、より速くクラブを振る方法を知りました。このように、物理学的な現象としてゴルフスイングを分析・解釈することで、科学的な根拠のもとでスイング動作を理解し、練習内容の具体化や限られた時間や球数の中での質の高い練習を実現することができました。その結果、私を含めサポートした選手の競技力を飛躍的に伸ばすことができました。

現在

**選**手サポートの経験から、スポーツに限らず、相手を変えたいと思うものに対して今抱える問題を見つけ、あらゆるデータを分析ことで解決策を作り、それを実行して、相手、いわゆる社会を支える人たちの役に立てる人材になりたいと思うようになりました。そこで、私は研究者ではなく、データ分析を通じて社会の問題解決に役立つ仕事ができる企業に就職するという道を選びました。

将来像

**現**状では、まだ社会人1年目なので力不足・勉強不足な部分ばかりですが、これまでの研究生活で培ってきた知識、実践力、リーダーシップを発揮して、いざという時に人の役に立てる人を目指します。

**博士力を必要とされる世の中は来る！！**